

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

なりきり English!

開発コンセプト・プロジェクト概要

中原 淳 (東京大学)

jun@nakahara-lab.net
http://www.nakahara-lab.net/

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

なりきり English!

企業向けモバイルリスニング教材

学習者の英語利用文脈にあったストーリー
- あなたが将来耳にする英語 -

携帯電話による反復学習：聴解指導理論

ワークショップでのビジネス提案

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

CESP
Contextualized English for Specific Purpose
あなたが将来耳にする英語：あなた仕様の英語

- 学習者の英語利用文脈に即したリスニングスキット
 - あなたの勤務する組織文脈に即した英語
 - あなたが将来利用する英語

仮説

- 学習者の英語利用文脈に即したリスニングスキットで学ぶ方が、学習効果が高いはず
 - リスニング能力向上
 - 学習継続率 英語不安の低下
 - 英語での自社の説明能力

CESP(あなたが将来耳にする英語)の開発プロセス

①ヒアリング

教育学者、経営学者、英語教育学者のチームで、I役員、人事部長にヒアリング

- 事業概要と今後の予想
- 経営戦略と英語利用文脈

②ストーリーメイキング

- ストーリーを書く
- 若手社員へのチェック
- うちの会社ならあるかも度の向上

③カリキュラム化

- 学習目標の設定
- 問題開発と系列化
- XMLのかたちに表現
- システムへ実装

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

ベネッセ社のCESP

事業立ち上げのための"視察 de English"

- 東アジアの国々への視察
 - ①教育行政官に話を聞く
 - ②保護者に話を聞く
 - ③現地の教員に話を聞く
 - ④聞いた内容を報告書にまとめる
 - ⑤帰国してプレゼンを行う
 - ※自社の説明をする

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

ざっくりリスニング

THIS W

Business Planning (RM) Manage Hyo-young Park

今日のまとめ

1) 英語村では、どんなことができますか？
2) 英語村の費用は留学の費用と比べてどうですか、安いですか？
3) 英語村では、どのような問題を抱えますか？

The English Village is ...

in village where communicates simulated prohibited English everyone in

English everyone in

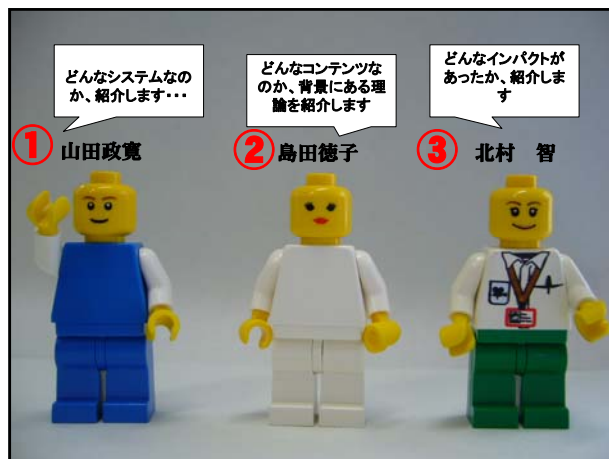
Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

今年は「形成的評価」をしました...

=本番の前にそもそもシステムが動くかを確認

- 実証実験
 - 1週間(本番では3週間)
 - ベネッセ社員様 23名
- 検証目標
 - システムが稼動するか?
 - 学習効果
 - 質問紙調査
 - CESPの学習効果は2008年度に検証

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.



なりきりEnglish!の開発 ～システムとコンテンツについて

山田 政寛 (東京大学、青山学院大学、東京工業大学)

masanori-y@ak.cradle.titech.ac.jp

<http://www.ak.cradle.titech.ac.jp/>

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

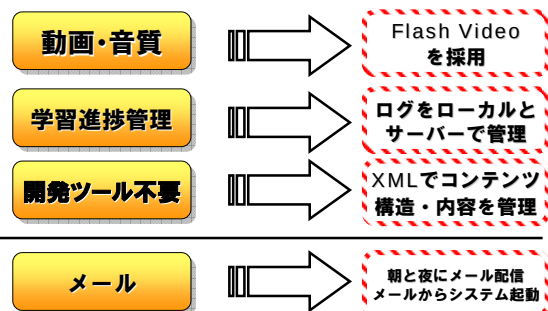
システム要件



Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

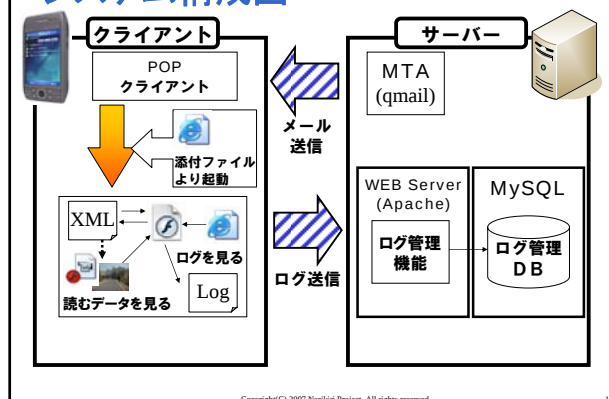
システム開発

- ・ クライアント側はAdobe Flashで開発

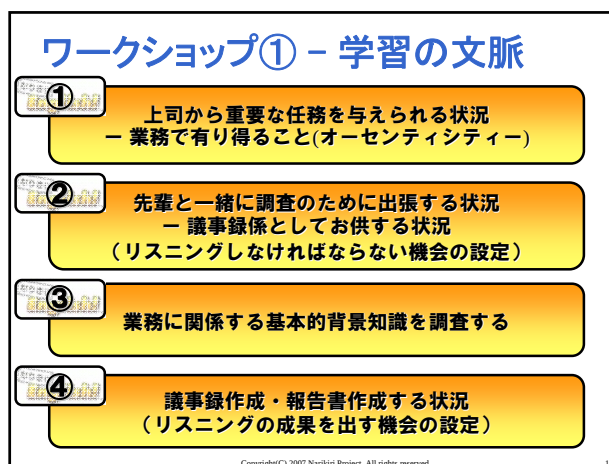
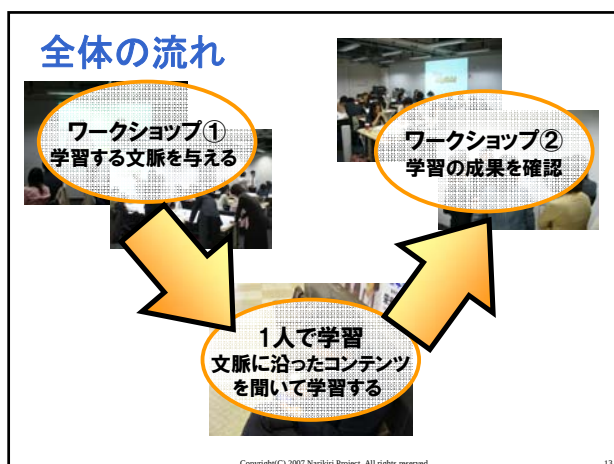


Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

システム構成図



Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.



① 今日の目標

今日の目標

<1. 今日目標>
今日の 漢語さんとChangさんの話では、
韓国の、私的産業と学校教育のあい
だのせめぎ合いや、それによってもたら
される問題が取り上げられます。

これら問題を理解し説明できるようにな
りましょう。

English!

敬愛寺歌堂との話 (R)
敬愛寺 敬愛寺

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

② 知っていますか？

知っていますか？

<教育費の割合>
Q1. 正解は(2)の7.8%です。次のグラフ
は、諸外国の家計に占める教育費の割
合を示したものです。韓国の教育費の割合
が非常に高いことがわかります。

国	教育費の割合 (%)
韓国	7.8%
日本	3.26%
アメリカ	1.66%
フィンランド	0.18%

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

③ 今日のキーワード

今日のキーワード

音声を聞き、辞で読み終わったら、チェック
を押そう！

- controversy over ...
- privately-owned institutions
- state education
- vicious cycle related to the class system
- low income families
- 〜をめぐる競争・紛争
- 私教育
- 公教育
- 社会階級に関連した悪循環
- 低所得家庭

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

④ おためしリスニング



- 今の実力で力試し

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

19

⑤ ざっくりリスニング



- 話の要点を聴く学習
- 要点に関する問題が提示され、○×で回答する

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

20

⑥ つかんでリスニング



- 語句が発せられた時にしっかり聞き取ることができるために学習

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

21

⑦ じっくりリスニング

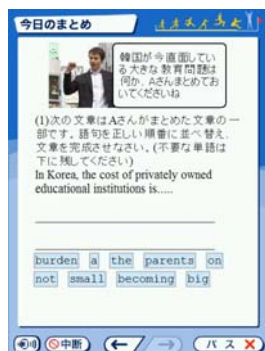


- 数字(例:売上高)など、細かい内容を理解するための学習
- 「ざっくりリスニング」よりも詳しい内容について出題される

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

22

⑧ 今日のまとめ



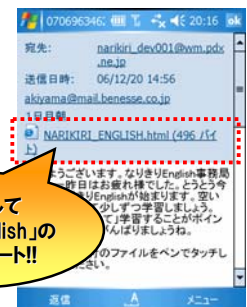
- 今日のリスニング内容をまとめた文章を完成させる
- 下の選択肢からペンでドラッグ&ドロップで正しい順番に並び替える

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

23

1日の流れ – 朝

朝7時、W-Zero3にメールが届く



クリックして
「なりきりEnglish」の
1日がスタート!!

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

24



1日の流れ - 夜

⑨ おやすみリスニング (1日のおさらい)

- 1日の内容をスクリプトを見ながら聴くことができる
- スクリプトを非表示にして、リスニングすることも可能

because we do not have entrance examinations from elementary school to high school, university entrance examinations are extremely competitive.

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

ワークショップ② - 学習の成果確認

一人で学んだ成果を持ち寄ってグループでみんなで最終プレゼン

「ひとりで学習」時に他のメンバーとは違うスキットが流れているので、情報交換は重要！！

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.





まとめ

- ① 業務と関連づいた文脈・コンテンツを提供することで内容への親近感・背景知識→継続的な学習＝学習効果UP
- ② 通勤時間や休憩時間、普段の生活の中でのちょっとした時間を使って学習ができるように設計
- ③ 朝と夜のメールと添付ファイルから起動することで学習を始めやすい設計
- ④ 学習者によって異なるスキットを配信することで学習者間のインタラクションが増え、ワークショップが活発化

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

32


東京大学
 THE UNIVERSITY OF TOKYO

なりきりEnglish!
教材設計のためのセオリー

島田徳子 (独立行政法人 国際交流基金)

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

33

日常生活の中の聴解

私たちの日常生活で、「聞くこと」に使う時間の割合はどのくらいでしょう？

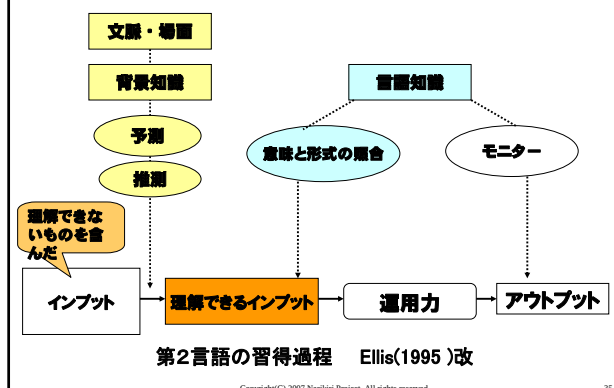
40%～50% と言われています

「聞くこと」はコミュニケーション活動の中心

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

34

言語学習の中で聴解が持つ役割



35

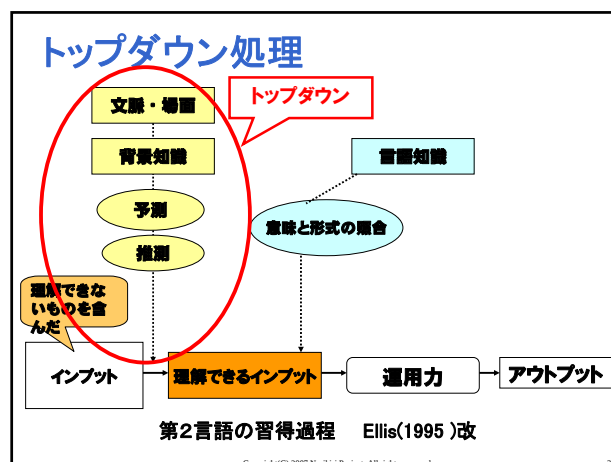
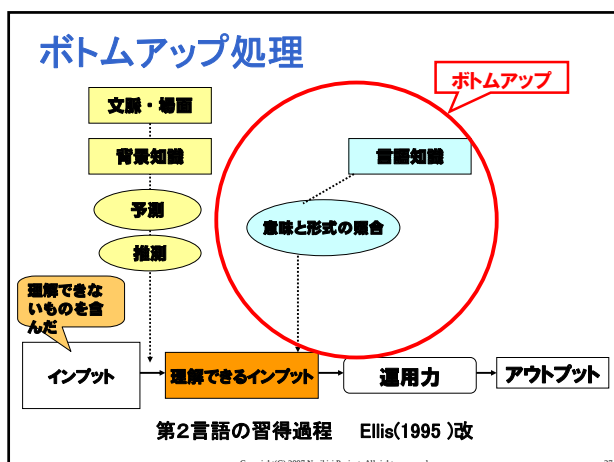
聴解の過程

聴解とは、
**言語知識を活用し、また、
 文脈・場面や背景知識を手がかりにして、
 音声から意味を構築する過程**

聴解は、アクティブな活動である

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

36



効果的な聞き手の聴き方は？

トップダウン処理を最大限駆使し、
必要に応じてボトムアップ処理で補う

聴解戦略を意識化する
聴解指導法の提案

Mendelsohn(1994), Rost(2001),
Nunan(2002), 横山(2005) など

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

聴解戦略とは

聞き手が音声言語を理解しようとするときに

聞き取れない部分の理解を補うために用いる

意識的な計画である

Rost,(2001)改

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

聴解戦略を意識化する 聴解指導法

① 聴解指導を、聞く前の活動(プレリスニング)、
聞きながらの活動(リスニング)、
聞いた後の活動(ポストリスニング)の3段階に分ける

② プレリスニングでは、
聞くための動機付けを行い、既知知識を生かすなど
トップダウン的な聞き方を支援する

③ リスニングでは、
ボトムアップとトップダウン双方の聴解過程を
意識した練習を行い、自らの理解を確認しながら聞く

④ ポストリスニングでは、
聞いて理解したことに対して学習者に能動的な
何らかの反応を求め、理解を確認させる

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.



教材構成とストラテジー

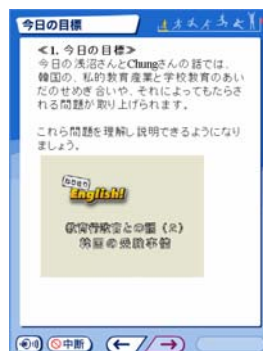
●: 主ストラテジー
○: 副次的ストラテジー

	教材構成	トップダウン	ボトムアップ	理解の確認
プレ	①今日の目標	●		
	②知っていますか	●		
	③今日のキーワード	●	○	
リスニング	④おためしリスニング			●
	⑤ざっくりリスニング	●	(○)	○
	⑥つかんでリスニング		●	○
	⑦じっくりリスニング	●	●	○
ポスト	⑧今日のまとめ			●
	⑨おやすみリスニング			●

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

43

① 今日の目標



・ その日の学習目標を表示

・ どのようなことが理解できればよいのかを表示する

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

44

② 知っていますか？



・ リスニング能力向上のため有効とされる背景知識を提示

・ クイズ形式で「これから聞く内容」に関連する知識を問う

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

45

③ 今日のキーワード



・ その日のリスニング内容を理解するために必須となる語句を学習する

・ 線結び課題になっている

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

46

④ おためしリスニング



・ 今日の内容を何も見ないで「チャレンジ」の意味で聞いてみる

・ どのくらい理解できたか自己評価する

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

47

⑤ ざっくりリスニング



・ 全体的に聞いて、要点を理解する学習

・ 聞き取りのポイントを表示する

・ リスニング後、要点に関係する問題が提示され、○×で回答する

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

48

⑥ つかんでリスニング



- ・リスニングしながら、語句を聞き取る学習
- ・聞き取れたらチェックすることができる
- ・チェック語句はそれら語句が**発せられるパラグラフのみ表示**される
- ・その語句が発せられる時間から**数秒の間に**チェックされたものだけが**正答**として判定される

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

49

⑦ じっくりリスニング

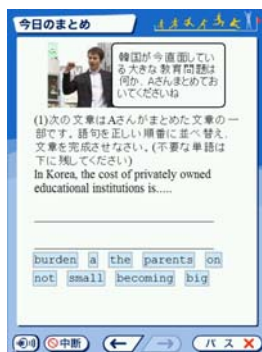


- ・数字など、細かい内容を理解するための学習
- ・「ざっくりリスニング」よりも詳しい内容について出題される

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

50

⑧ 今日のまとめ



- ・今日のリスニング内容をまとめた文章を完成させる
- ・下の選択肢からペンでドラッグ&ドロップで正しい順番に並び替える

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

51

⑨ おやすみリスニング (1日のおさらい)



- ・1日の内容を**スクリプトを見ながら**聴くことができる
- ・スクリプトを**非表示**にして、リスニングすることも可能

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

52



「なりきりEnglish!」のインパクト: 学習教材としての評価

北村 智 (東京大学)

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

53

評価の観点

モバイル利用について:
モバイルでやってよかったのか?

学習効果について:
なりきりEnglish!で学習すると効果があるか?

文脈について:
文脈にあったストーリーだとどうなったか?

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

54

なお...

- 今年度は形成的評価
 - 教材としてOKなのかを中心に検証
- Contextualized ESPの効果は...
 - 来年度、じっくりと検証していきます
 - 今年度は副次的効果の点について

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

55

評価の方法

- 実証実験
 - 参加者はベネッセ社員様23名
 - データが取れたのは20名
 - 期間は1週間
(今年は形成的評価のため)



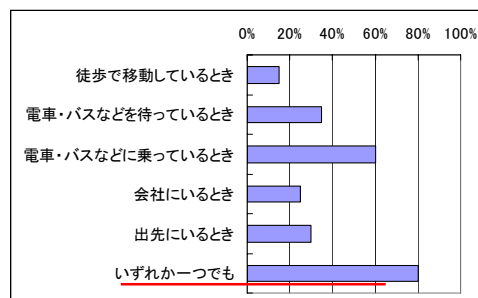
モバイル利用について

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

57

屋外で実際利用したのか？

- モバイルでやることのメリット
 - いつでもどこでも



フォローインタビュー

- 実際にはいつどこでやった？
 - 就業後の会社の図書館やお昼休み
 - 通勤電車の中
 - 自宅
- メールで起動するシステムはどう？
 - やらなくてはこの気持ちになる
 - 時間を自分で変更できるともったいい

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

59

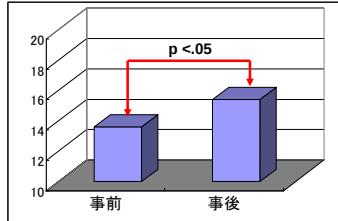
学習効果について

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

60

リスニング力はどうなったか？(1)

- ・ ストーリーと同じ文脈のリスニングテスト
- ・ 事後のほうが得点が高い
 - 統計的に有意な差

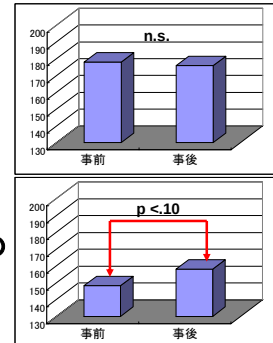


Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

61

リスニング力はどうなったか？(2)

- ・ 一般的な英語力テスト
 - 大意把握(上)
 - 具体情報の聞き取り(下)
- ・ 大意把握のスコアは変わらなかった
- ・ 具体情報の聞き取りのスコアは上昇

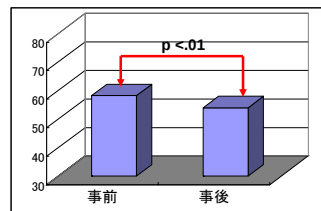


Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

62

英語不安はどうなったか？

- ・ 英語不安
 - 英語に対する自信のなさ
 - 質問紙で測定
- ・ 学習後には英語使用に対する不安が低下



Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

63

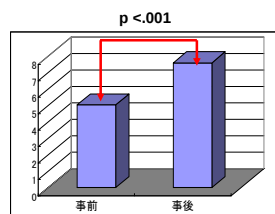
文脈について

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

64

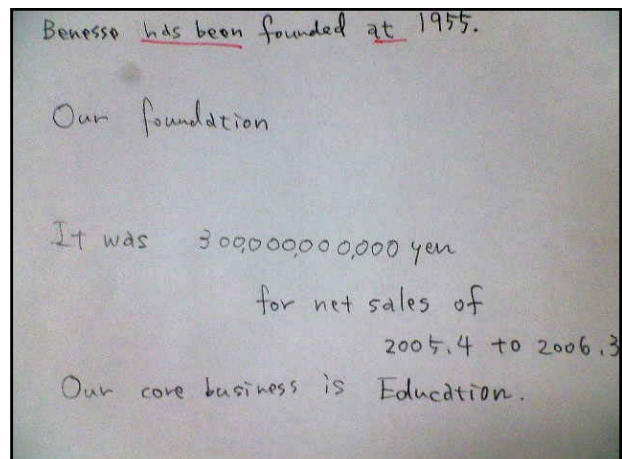
文脈にあったストーリーはどう効いたか？

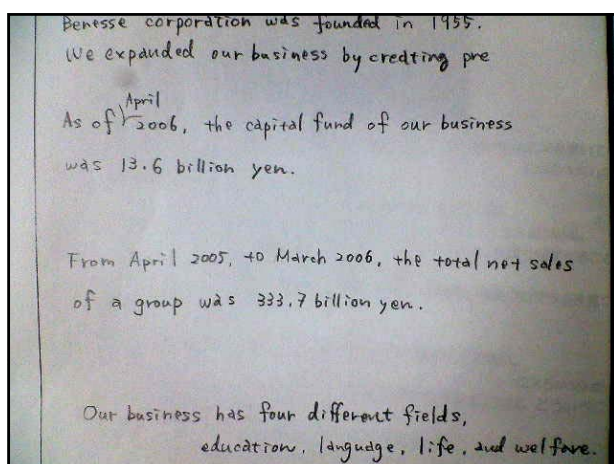
- ・ 「ベネッセの事業内容を英語で説明してください」
- ・ 語彙・表現、正確さ、わかりやすさ、を各4点満点で採点
- ・ 学習後に、得点が有意に向上



Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

65





まとめ

- モバイル利用について:
 – 「いつでもどこでも」学習が行なえた
- 学習効果:
 – 一週間であってもリスニング力への効果
 – 英語不安の低下
- 文脈の効果:
 – 自社の事業内容に関する説明力向上

Copyright(C) 2007 Narikiri Project. All rights reserved.

68

■プロジェクト総括 中原淳	■マニュアル作成 石垣佐保子(デザイン)	実験実験に ご参加いただいた ベネッセ社員の 皆様に この場を借りて 感謝いたします! ありがとうございました!
■共同研究・協力 (ベネッセコーポレーション) 和氣竜也 中野真衣 秋山大志	■英語チーム 島田健子 リチャード・ハリソン 山口悦司 長岡健 栗原美和 西森年寿 望月俊男	
■共同研究・協力 (スパイスワークス) 関根氏 中村氏 大野氏 藤田氏	■ワークショップチーム 三宅氏 「ひとりチーム！」	
■制作統括 大房潤一	■冊子チーム 館野氏 「ひとりチーム」かい!	
■キャラクター・ロゴデザイン こじまはるか	■評価チーム 北村 智 他各チームのディレクター	

